



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構

平成28年4月12日

道政記者クラブ所属報道機関各位

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

理事長 丹保憲仁

地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員の募集について

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）は、平成22年4月に22の道立試験研究機関を統合し設立した研究機関です。

この度、道総研では平成29年度に採用する職員の試験を実施することになりましたので、積極的なPRについてご協力をお願いします。

詳しくは、別添募集要項をご覧ください。

【お問い合わせ先】

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

本部経営企画部経営企画グループ

担当：主査（人事） 浅野

TEL：011-747-2796（直通）

E-mail：katou-nobuaki@hro.or.jp

FAX：011-747-0211

地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員採用試験募集要項

(平成29年度採用)

平成28年4月1日 札幌市北区北19条西11丁目

北海道立総合研究機構 電話 011-747-0055

- 受付期限 平成28年6月14日(火) [消印有効]
- 第1次試験日 平成28年7月 3日(日)
- 試験地 札幌市

地方独立行政法人北海道立総合研究機構は、平成22年4月に、幅広い研究分野を有する試験研究機関として北海道の総力を結集した試験研究や技術支援等を進め、自然環境の保全や道民の豊かな暮らしづくり、道内産業の振興に貢献することを目的に、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野からなる22の試験研究機関を統合して設立した研究機関であり、この採用試験は、各研究分野において研究業務を行う職員を採用するための試験です。

なお、採用後の身分は地方独立行政法人北海道立総合研究機構の職員となります。

(北海道職員ではありません。)

1 試験区分、採用予定数、主な職務内容及び採用時の勤務予定箇所

試験区分	採用予定数	主な職務内容	採用時の勤務予定箇所
農業機械	1名	農業機械に関する調査研究	農業試験場
農業経済	1名	農業経済及び農村計画に関する調査研究	
作物	2名	作物育種及び栽培技術に関する調査研究	
獣医	1名	家畜疾病の予防に関する調査研究	
害虫	1名	害虫の発生生態と防除に関する調査研究	
畜産	1名	家畜の育種、栄養・管理に関する調査研究	
魚病	1名	魚病及び防疫に関する調査研究	水産試験場
管理増殖	3名	水産資源の管理及び増養殖に関する調査研究	
森林科学	1名	森林資源の情報システム及び管理に関する調査研究	林業試験場
樹木	1名	組織培養等による樹木の増殖・開発に関する調査研究	
菌類・きのこ	1名	食用きのこの品種開発に関する調査研究	林産試験場
材料工学	1名	材料技術に関する試験研究並びに企業等への技術支援	工業試験場
化学工学	1名	資源循環及び環境保全技術に関する試験研究並びに企業等への技術支援	
機械工学	1名	機械設計及び機械制御に関する試験研究並びに企業等への技術支援	
エネルギー	1名	エネルギー利用技術に関する試験研究並びに企業等への技術支援	

試験区分	採用予定数	主な職務内容	採用時の勤務予定箇所
環境工学	1名	水域の環境保全管理及び活用に関する調査研究	環境科学研究センター
地質	1名	土砂災害を含む地質災害に関する調査研究	地質研究所
建築・都市工学	3名	建築・都市工学に関する調査研究	北方建築総合研究所

※ 「採用時の勤務予定箇所」の所在地については、当機構のホームページ (<http://www.hro.or.jp>) に記載しています。

※ 上記試験区分のうち、いずれか1つしか応募できません。また、申込受付後は試験区分の変更は認めません。

2 試験日程、試験地等

試験区分	試験	試験日	試験地	試験会場
全試験区分	第1次試験	7月3日(日) 9:30(着席) 16:00(終了見込み)	札幌市	受験票でお知らせします。
	第2次試験	8月中旬	札幌市	第1次試験合格通知書でお知らせします。

3 求める人材、受験資格

試験区分	求める人材	受験資格
農業機械	農学に関する基礎知識、 並びに生物生産機械工学に関する専門知識を有する者	昭和62年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
農業経済	経済学に関する基礎知識、 並びに農業経済学に関する専門知識を有する者	昭和62年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
作物	農学に関する基礎知識、 並びに作物学及び遺伝育種学または園芸学及び植物生理学に関する専門知識を有する者	昭和62年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
獣医	畜産学に関する基礎知識、 並びに獣医学に関する専門知識を有する者	昭和57年4月2日以降に生まれた者で 獣医師の資格を有する者または獣医師の資格を取得する見込みの者
害虫	農学に関する基礎知識、 並びに昆虫学及び生態学に関する専門知識を有する者	昭和62年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
畜産	畜産学に関する基礎知識、 並びに家畜育種及び家畜栄養・管理学に関する専門知識を有する者	昭和62年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
魚病	水産学に関する基礎知識、 並びに魚病学または微生物学に関する専門知識を有する者	昭和57年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者

試験区分	求める人材	受験資格
管理増殖	水産学に関する基礎知識、 並びに水産資源の管理及び増養殖に関する専門知識を有する者	昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
森林科学	森林科学の分野全般の基礎知識、 並びに森林情報学及び森林計画学に関する専門知識を有する者	昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
樹木	植物学に関する基礎知識、 並びにバイオテクノロジーに関する専門知識を有する者	昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
菌類・きのこ	生物学に関する基礎知識、 並びに微生物学及び遺伝子工学に関する専門知識を有する者	昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
材料工学	材料工学に関する基礎知識、 並びに金属材料や加工に関する専門知識を有する者	昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
化学工学	化学工学及び化学に関する基礎知識、 並びに資源循環及び環境保全技術に関する専門知識を有する者	昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
機械工学	機械工学に関する基礎知識、 並びに機械設計・機械制御に関する専門知識を有する者	昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
エネルギー	熱工学及び流体工学に関する基礎知識、 並びに燃焼及び熱・エネルギー変換工学に関する専門知識を有する者	昭和 52 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
環境工学	環境科学に関する基礎知識、 並びに水環境学、流域環境工学及び水域生態学に関する専門知識を有する者	昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
地質	地球科学及び土質工学に関する基礎知識、 並びに土砂災害を含む地質災害科学に関する専門知識を有する者	昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
建築・都市工学	建築学に関する基礎知識、 並びに建築工学及び都市工学に関する専門知識を有する者	昭和 52 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者

※ 試験区分によって受験資格（年齢・資格）が異なりますので、ご注意のうえ応募してください。

※ 受験資格に記載されている「修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者」については、専門試験においてその能力を判断するものであり、修士課程修了者や見込者に限定するものではありません。

※ 次に該当する者は、受験できません。

ア 成年被後見人、被保佐人（準禁治産者を含む。）

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

ウ 北海道職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者

エ 日本国憲法施行の日（昭和 22 年 5 月 3 日）以降において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

なお、日本国籍を有しない方も受験できますが、採用日において、法令により永住が認められていない人は採用されません。

4 試験方法、内容

試験区分	試験	試験種目	解答時間	内 容
全試験区分	第1次試験	教養試験 (択一式・40題)	2時間	当機構研究職員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験 (出題分野は下表のとおり)
		専門試験 (択一式・記述式)	3時間	各試験区分に応じて必要な専門的知識、能力などについての筆記試験 (出題分野は下表のとおり) ※試験区分によっては択一式のみ又は記述式のみ出題となる場合があります。
	第2次試験	人物試験	第1次試験合格者に対して、個別面接及び適性検査を行います。	

教養試験出題分野一覧表

試験区分	出 題 分 野
全試験区分	社会科学系（政治、経済、憲法、社会・思想） 人文科学系（日本史、世界史、地理、国語、芸術・文学） 自然科学系（数学、物理、化学、生物、地学） 文章理解（現代文、古文、英文）、判断推理、数的推理、資料解釈 ※大学卒業程度

専門試験出題分野一覧表

試験区分	出 題 分 野
農業機械	農学の基礎知識 生物生産機械工学の専門知識
農業経済	経済学の基礎知識 農業経済学の専門知識
作物	農学の基礎知識 作物学及び遺伝育種学または園芸学及び植物生理学のいずれかの専門知識から選択
獣 医	畜産学の基礎知識 獣医学の専門知識
害 虫	農学の基礎知識 昆虫学及び生態学の専門知識
畜 産	畜産学の基礎知識 家畜育種・繁殖学及び家畜栄養・管理学の専門知識
魚 病	水産学の基礎知識 魚病学の専門知識
管理増殖	水産学の基礎知識 水産資源学及び水産増養殖学の専門知識
森林科学	森林科学の基礎知識 森林情報学及び森林計画学の専門知識
樹 木	植物学の基礎知識 バイオテクノロジー（組織培養・増殖・育種）の専門知識

試験区分	出 題 分 野
菌類・きのこ	生物学の基礎知識 微生物学及び遺伝子工学の専門知識
材 料 工 学	材料工学の基礎知識 金属材料学（鉄鋼材料、非鉄材料）及び表界面工学（表面処理、分析評価）の 専門知識
化 学 工 学	化学工学及び化学の基礎知識 資源循環及び環境保全技術の専門知識
機 械 工 学	機械工学の基礎知識 機械設計・機械制御及びメカトロニクスの専門知識
エ ネ ル ギ ー	熱工学及び流体工学の基礎知識 燃焼及び熱・エネルギー変換工学の専門知識
環 境 工 学	環境科学の基礎知識 水環境学、流域環境工学及び水域生態学の専門知識
地 質	地球科学及び土質工学の基礎知識 土砂災害・地質災害科学の専門知識
建築・都市工学	建築学の基礎知識 建築工学及び都市工学の専門知識

5 合格者の決定方法

- (1) 第1次試験合格者 教養試験及び専門試験の結果により決定します。
(2) 最終合格者 第1次試験（専門試験）及び第2次試験の結果により決定します。

6 合格発表

合格者の発表は受験番号のみにより行い、合格者の受験番号を当機構本部入口の掲示板に掲示するほか、当機構のホームページ上にも掲示します。また、合格者には合格通知書を送付します。なお、電話による照会には応じません。

合格した方で、合格通知書が発表の日から2日経っても到着しない場合には、速やかに、北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（電話 011-747-0055）にお問い合わせください。

なお、辞退等の理由により合格者を採用できなくなった場合は、第2次試験受験者のうち成績が上位である者を合格者として追加することがあります。

- 合格発表日
- | | |
|-------------|------|
| ア 第1次試験合格発表 | 7月中旬 |
| イ 最終合格発表 | 9月上旬 |

7 試験結果の開示について

この試験の結果については、『地方独立行政法人北海道立総合研究機構口頭による開示請求の開示要綱』の規定により、下表のとおり口頭で開示を請求することができます。

なお、電話、はがき等による請求では開示できませんので、受験者本人が、本人であることを証明する書類（運転免許証、健康保険の被保険者証、旅券、学生証等）を持参のうえ、午前8時45分から午後5時までの間に直接お越しくください。（土・日曜日及び祝日は受付いたしません。）

開示請求できる人	開示期間	開示内容	開示場所
第1次試験 不 合 格 者	第1次試験合格発表 日から1か月間	第1次試験の個別得 点及びその成績順位	北海道札幌市北区北19条西11丁目 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 本部経営企画部経営企画グループ
第1次試験 合 格 者	最終合格発表日から 1か月間	第1次試験の開示内 内容及び第2次試験の 得点並びに総合順位	

8 採用時期

採用時期は、原則として平成29年4月1日です。（ただし、既に学校等を卒業している方等は、平成28年度中に採用される場合もあります。）

ただし、本試験に合格しても、健康診断等で就業が困難とされた場合、又は「獣医」を受験する方で、採用時期までに獣医師の資格を取得（獣医師国家試験に合格）していない場合は採用されません。

9 給 与 （次の額は、平成28年4月1日現在における**新卒者の場合の例**です。）

区 分	初 任 給	諸 手 当
(例1) 研究職員（博士課程修了）	266,800円	期末手当・勤勉手当（賞与）、通勤手当、住居手当、扶養手当、寒冷地手当等の諸手当がそれぞれの支給条件に応じて支給されます。
(例2) 研究職員（修士課程修了）	217,800円	

※ 初任給は、採用前の学歴や経歴などを考慮のうえ、決定されます。

なお、当機構では、社会一般の情勢等に応じた給与の見直しを適宜行っています。

※ 社会保険については、地方職員共済組合に加入することとなります。

10 申込方法

次の書類を平成28年6月14日（火）までに北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目）あて持参（**期限：当日17時**）又は郵送（**期限日消印有効**）により提出してください。

なお、郵送の場合は、**必ず簡易書留**で送付してください。

- (1) 申込書（指定の様式に黒ペン又は黒ボールペンで明瞭に**手書**し、指定の場所に写真を貼付してください。）
- (2) 返信用封筒（受験票の送付先を明記し、82円切手を貼付した長形3号（12.0cm×23.5cm））
- (3) 「獣医」を受験する者にとっては、上記3の受験資格に関する免許証等の写し

受験票は、6月21日（火）から発送する予定です。**6月24日（金）までに受験票が届かないときは、6月27日（月）に北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（電話011-747-0055）に必ずお問い合わせください。**

※ 第1次試験受験の際は、必ず受験票の所定の欄に6か月以内に撮影した脱帽、上半身、正面向きの縦4cm×横3cmの写真を貼ってきてください。

11 その他

- (1) 申込書に記載された個人情報は、本試験以外の目的には使用しません。
- (2) 採用の可否に関わらず、応募書類は返却いたしません。
- (3) 収集した個人情報は、北海道個人情報保護条例に基づき適切に管理します。
- (4) **第1次試験合格者には、第1次試験合格通知書の到着後直ちに、申込書の12に概要を記載した卒業論文、修士論文又は学術論文、学会発表等の写しを提出していただきます。**